



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.7
グループと神戸外国人
居留地文化/桑田 優
2003年10月発行

第7回テーマ : グループと



神戸外国人居留地文化

☆講演内容

- 神戸外国人居留地
文化の成立
- 居留地にやってきた
イギリス人たち
- グループの活動

神戸外国人 居留地跡の碑



講師 ^{くわた まさる} 桑田 優さん

プロフィール

昭和20年神戸市生まれ
昭和60年八代学院大学(現:神戸国際大学)経済学部教授、現在に至る。平成5年、オックスフォード大学日産日本問題研究所研究員、平成9年同研究所客員所員、平成13年ケンブリッジ大学東洋学部客員研究員

実施日:平成15年10月18日(土)午後2時~5時
場所:六甲山自然保護センター内 レクチャールーム

今年最後のセンターでのセミナー

この日は素晴らしい秋晴れで、自然保護センターの入口前にはコスモスやススキが揺れており、たくさんの方が訪れていました。センターでの市民セミナーは今回が今年最後となりました。(来月からは六甲山YMCAにて開催します)参加者32名が揃い、神戸市立成徳小学校の先生や生徒さん、婦人大学卒業生「あけび」の会の皆さん他、多彩なリスナーが集まり充実したセミナーを開催することができました。



成徳小学校の生徒さんも参加

居留地というものがあった

今回は神戸のイメージの一つにある外国人居留地に注目しました。居留地成立の歴史や建設、また居留地に関わる外国人達、その中の1人、六甲山開祖、アーサー・ヘスケス・グループの活動についてご紹介いただきました。六甲山の開発は居留地文化が源流にあり、六甲山開発の背景や文化を知ることができました。

グループの出生・死亡届を見た

本邦初公開!グループの出生届、死亡届を拝見することができました。桑田さんは、神戸国際大学経済学部の教授であり、他面では駐日英国外交官について研究されていて、神戸外国人居留地研究会の事務局長をされています。資料入手のため毎年イギリスへ出かけるそうです。この度、神戸外国人居留地をはじめ、イギリス人であるグループに関するたくさんの貴重な資料を集めていただき、スライドにて紹介していただきました。桑田先生の資料収集力ならびに追求する熱心さにとっても感動しました。講演へのご配慮に感謝いたします。



旧居留地38番館

懇談会にもぎわった

質疑応答の後、お茶を飲みながら和やかな雰囲気懇談会へと進みました。成徳小学校の4年生担当である福谷先生より総合的な学習に対する方針をご紹介いただき、皆で聞き入りました。懇談会は参加者同士へと活発になり意見が交わされました。

※詳しくは1~2ページをお読みください。

主催:六甲山自然保護センターを活用する会
後援:兵庫県神戸県民局
兵庫県立人と自然の博物館